

一人の首切りも許さない

# N関労山梨 2007年3月2号

東日本NTT関連合同労働組合山梨支部  
 〒400-0123  
 山梨県甲斐市島上条1923-3  
 小田切 博 気付  
 電話 055-277-6161

発行責任者 古屋 二三男 編集責任者 小田切 博

## 07春闘、会社に要求書を提出!

### 大幅賃上げで生活の改善を

### ピーク時より 二〇〇万円以上の減額

NTTに働く仲間みなさん、私たち東日本NTT関連合同労働組合山梨支部(以下、N関労山梨)は、07春闘勝利に向け2月28日、(株)NTT東日本山梨に対して11項目の要求をしました。

ご承知の通りいま、NTTをはじめ大企業は史上空前の利益を上げ続けています。しかし、どうでしょう。働く私たちの生活は、年々苦しくなっております。春闘アンケートでは、退職再雇用によってピーク時の賃金より200万円以上減額している仲間がほとんどでした。

みなさんも一度、机の片隅にある源泉徴収票を取り出して確かめてみて下さい。

### 月額一律5万円を要求

連合は大幅賃上げを返上し、「賃金改善」要求となっております。私たちは、生活改善要求として月額一律5万円の賃上げと夏冬一時金6ヶ月を要求して闘います。

更に、退職再雇用時に切り下げられた25%の賃金回復。働く仲間を競争に駆り立てる成果主義賃金制度の廃止も求めます。

### N関労山梨は本日13日から23日まで時間外労働拒否闘争に突入

### 要求書

1. 所定内賃金を一律月額5万円引き上げること。
2. 夏期、年末一時金を所定内賃金の6ヶ月分支払うこと。
3. 社員と同一労働している、派遣、契約社員の賃金を差別なく同一水準とすること。
4. 料金部門おける広域集約とアウトソーシング(業務委託)は、そこで働く労働者の職場を奪い、安心して働く事ができなくなるので中止すること。
5. 安心して働くことを不安定にする、50歳退職・再雇用制度を廃止すること。
6. 高年齢者・雇用安定法を忠実に守り、全ての社員に65歳までの雇用を保障すること。
7. 成果業績主義賃金制度を廃止すること。
8. 社宅の定年制を廃止し、安心して社宅に入れる制度を確立すること。
9. 人間ドックを年間を通して指定できるように、そして検査内容を充実させること。
10. カフエテリアプランを使いやすくすること。(例えば1ポイント残ると使い道がない。繰越制度とか、1ポイントで使える物とか考慮する必要がある)
11. アスベスト安全対策について明らかにすること。

これまでに補修・修理されている、山梨県内のNTTビルを明らかにすること。

山梨県内のNTTビルで、アスベストの危険性がわかっている局(部屋)はあるか。ある場合の補修計画を明らかにすること。社員がお客様のビルなどに行って、MDFや電源室他でアスベストを浴びる危険性について、会社として把握して安全対策をすると共に、社員周知を徹底すること。

12. 会社所有車の交通事故について、社員周知の徹底を図ること。

### 非正規社員の 処遇改善を求める

また、NTTには、キャリアスタッフをはじめ派遣、パート等、多くの非正規社員が働いています。同じ職場に働きながらその処遇には大きな格差が生じています。これを改善することも働かせる企業の側の責任です。私たちは、賃上げを始め処遇の改善を求めます。

その他、人間ドックの検診内容の充実、カフエテリアプラン、アスベスト安全対策などを要求し闘っていきます。



# NTTの常識は世間の非常識

## NTT「企業年金減額申請却下」行政訴訟裁判に参加

### 企業年金の運用成績は好調、改悪の条件なし

NTTは、厚生労働省の「企業年金減額申請却下」に対し行政訴訟を起こしました。この行政訴訟に私たちN関労山梨の組合員も、全国の仲間とともに裁判への参加申し立て（第三者訴訟）を行いました。1月22日、裁判への参加を認める判断が下されました。

私たちは「国に守ってもらおう」ということではなく、自らの年金減額問題を、年金加入者、年金受給権者として権利保護のために精一杯問題点を主張していきます。

#### 年金財政悪化の原因を

##### 作ったのはNTT

NTTは、年金減額規約改正の理由に「年金財政の悪化」を挙げています。

しかし「年金財政悪化」は、2002年の「50歳退職再雇用制度」導入にその原因があります。退職再雇用に心じなければ「勤務地の限定なく広域異動」「60歳を超えた雇用はしない」と15%〜30%の賃下げを行いました。

このため、企業年金加入者（現役労働者）が減少し、受給権者が増加（2001年から2003年で、加入者は21万人から13万人、受給権者は、5万人から13万人）したからです。

#### 年金運用実績の改善

また、「年金資金運用環境が悪化。将来に亘って安定した年金制度を維持し続けることが困難」とも言っています。

ところが、実際は景気は回復し、年金資産の運用は著しく改善されています。

NTTの有価証券報告書に記載された年金資産の実際運用利益は、平成15年度末 1322億円

（運用利回り約15.2%）  
平成16年度末 446億円

（運用利回り約4.5%）  
平成17年度末 1929億円

（運用利回り約17.5%）  
にのぼり、年金資産額も約1兆3223億円となっています。

#### NTTの企業業績

さらに、連結決算においても、史上空前の利益を上げています。

平成15年3月末

NTTグループ 1兆4050億円

NTT東 400億円

NTT西 634億円

平成16年3月末

NTTグループ 1兆5273億円

NTT東 1004億円

NTT東 983億円

平成17年3月末  
NTTグループ 1兆7233億円  
NTT東 992億円  
NTT西 830億円

平成18年3月末  
NTTグループ 1兆3059億円  
NTT東 842億円  
NTT西 565億円

このように、NTTの主張はどれをとっても合理性がありません。

1月25日に第三回の裁判が行われました。国側は「収支が改善され、100億円以上の収益を上げているNTTの減額は承認できない」と主張しています。

私たちは「同意書」が不当に集められた事実。減額による退職後の生活への影響等を訴えながら「NTTの常識は世間の非常識」を明らかにし、NTTの「請求棄却」判決を勝ち取るまで闘います。みなさんのご支援をお願いします。

## 専用線・所内SOなど職場の要求に会社側は全く不誠実な回答

N関労山梨は、2月12日に会社に対して具体的職場の問題を明らかにするよう要求書の提出を行った。しかし、会社は不誠実な回答に終始し、職場の諸問題の解決に取り組む姿勢が全く見られない。

わたしたちN関労山梨は、今後も各職場の具体的な問題点の改善に向けて、会社の責任を追究していく考えです。職場で困っている問題があったらご相談ください。

#### 要求書

- 「料金部門の運営体制見直し」について
- 平成19年度の事業計画における、所外メンテナンス部門の業務集約について、会社説明を求めます。
- IP専用線担当の「スリム化」問題について会社説明を求めます。  
LDSLに収容されている専用線をDSMに回線巻き取りをする予定について内容を説明し、資料を提出すること。  
回線数、予定線表、人員配置など具体的に説明を求めます。
- 所内SO担当の「Bフレッツ・ひかり電話開通工事」に関わる業務の今後の見通しについて明らかにすること。  
「Bフレッツ・ひかり電話開通工事」は会社の重点施策として取り組まれ、サービス地域も拡大されている。それに伴い、工事件数が増加し時間外勤務による社員の負担が増大している。特に、土休日の件数が平日よりも多くなり問題である。  
よって、今後の「Bフレッツ・ひかり電話」のサービス地域拡大予定、工事量増大に伴う人員配置のあり方、業務時間内工事完了の適正工事件数の考え方、など具体的に説明すること。